

第2回 国際交流デー (11月22日) 3年生英語授業での交流

大切にしたいこと

あいさつ・掃除・思いやり



11月22日に、3年生の英語の授業に、10か国(エジプト、エチオピア、ベトナム、インド、インドネシア、中国、韓国など)15名の留学生に授業に入ってもらい、各国の有名人について紹介してもらいました。1人の外国の方に2~3人の生徒でグループを作っていたので、みんな必死に話そうとしたり、理解しようとしていました。

国際交流デー 英語授業の流れ

- 1 全員立って、簡単な自己紹介
4~5人に声をかけて、話した人について情報をメモする。簡単な質問は、事前に30くらい準備しておきます。
- 2 それぞれの国の有名な人、偉人について簡単に紹介
写真を見せてくれて、英語で紹介してくれました。
- 3 質問タイム
わからないところは英語を使って聞き返したり、留学生からの質問を受けて答えました。
- 4 最後に、聞き取った情報について、生徒が英語で発表しました。たくさん手が挙がって



He is from China. His name is ~. He is studying in Waseda university. He likes tempura and sushi.
He is very interested in 三国志。・・・など、いろいろと聞き取って発表できました。



英語で話そうとする意欲が素晴らしかったですね。片言でもいいのです。まずは、理解しようとする、伝えようとするのが大切です。

<授業についての生徒の感想> (3年3組 Kさん)「私は、英語は得意ではないけれど、ジェスチャーなども使ってコミュニケーションを図ることができました。1年のころからずっと国際交流をやってきて、英語力が身についたと思います。あまり英語が話せなくても、理解したいと思う心があれば、意味が通じることがわかりました。李さんは、三国志が好きで、私は歴史を学ぶこともできました。他の国の文化を理解して、尊重していくのは素晴らしいことだと思います。相手の言うことが、もっとわかるようになります。とても楽しく国の文化を学ぶことができて良かったと思いました。」



(3年Iさん) 1・2年の時は、”全体です”ということばかりだったので、人に任せっきりでしたが、今回はほとんど1対1みたいな感じなのでがんばりました。だけど話すスピードも速くて聞き取れなくて困らせてしまいました。だけど、

わかる単語とかで少しでも話せるようにがんばってすごく楽しかったです。英語を勉強して話せるようになりたいなと思いました。とても良い機会でした。

(3年Mさん) いろいろな国から洞北まで来てくれてうれしかったです。一緒に給食も食べて、良かったです。でも、話しかけられなかったです。単語の意味がわからないので、だいぶ自信がないです。でも、授業の時、外国の人に質問するときに、英語で聞くのがわからないと、先生や友達が教えてくれました。とても、心が温かくなりました。シュウゼンさんの話していることがよくわからなくても、せいごが教えてくれたり、シュウゼンさんがゆっくり話してくれたりしました。自分は、迷惑ばかりかけているなと思いました。なので、英語はとても大事であり、この先は、勉強しないといけないなと感じました。

(3年K君) 1年の時は、向こうの人が言っている言葉もわからず、自分も何を話しているのか、わからなくて楽しくありませんでした。だけど、3年間英語を学んで、単語の意味とかも理解できるようになると、だんだん外国の人と話せるようになりました。3年になってからは、文章は作れなくても、単語を並べるだけで、まあまあ会話が成立して外国の方と話すのが楽しくなりました。もっと多くの外国人とたくさん話したいと思うし、海外旅行なども英語をもっと勉強して、行ってみたいなと思いました。

(3年M君) 洞北中は、周りの学校よりも国際交流をしているので、英語が少し身近になりました。将来、本当に外国に行ってみたくないので、もっともっと英語を勉強して、ALTの人たちとどんどんコミュニケーションをとって、どんどん会話をしていきたいと思います。3年間国際交流をしてきたけど、本当にどれも楽しかったです！

(3年K君) 1年の時から、少しずつ上達した英語を使った今回の交流はとても楽しかった。自分が外国人に囲まれて、海外にいるような気分になれた。1年生のころなら楽しくなかっただろうけど、勉強することで楽しくなった。英語を勉強することで自分の世界が広がっていくことがよくわかった交流だった。

キャリア教育講演会

演題

一つの出会いが人生を変える

～頼まれごとは試されごと～

講師 黒船カンパニー代表取締役社長 中村文昭 様



最後に生徒会長の有吉君が、お礼の言葉を述べてくれました。生徒会長としての最後の仕事でしたが、大人顔負けの落ち着いた言葉でした。

